

トップメッセージ

環境の課題は、健康の課題とも深く関わっています。2018年から開示を始めたTCFDのシナリオ分析では、気候変動が私たちの重要な農産物や水に大きな影響を与えるとともに、温暖化によって感染症や熱中症などが増加することが分かっています。中でも心配されるのが、「デング熱」の感染拡大です。媒介蚊であるヒトスジシマカは、1948年頃には栃木県が北限であったものが、温暖化に伴い現在では青森県でも生息が確認されています。

キリンググループは、長年東南アジアで基礎研究を重ね、2021年9月にはマレーシアのマラヤ大学との共同臨床研究で、「乳酸菌L.ラクトイス プラズマ」によるデング熱様症状に対する効果を確認しました。さまざまな熱帯感染症に対する効果について国内外の大学などの研究機関と連携して共同研究を進め、気候変動の適応策としても貢献していきたいと考えています。当社が行ったお客様調査では、新型コロナウイルスの感染拡大で最も高まった健康意識は「免疫への関心」です。このような社会的な要請にキリンググループのヘルスサイエンス事業領域で応えていくことが、社会的価値と経済的価値を両立するCSVの前進につながっていくと考えています。今ESGのテーマは、気候変動から人や事業に生態系サービスを与えてくれる自然資本に拡大しつつあります。「乳酸菌L.ラクトイス プラズマ」によるさまざまな効果は、「生態系サービス」そのものです。2013年

に「持続可能な生物資源利用行動計画」を策定し、スリランカの紅茶農園への持続可能な農園認証取得支援や紙容器へのFSC®認証紙利用を進めてきた私たちは、この分野でも社会の期待に応えることでESGの評価をさらに高めていきたいと考えています。

気候変動の緩和策であるキリンググループのGHG排出量削減目標は、国際的イニシアチブであるScience Based Targetsから「科学的根拠に基づく目標」として認定をされています。今後、自然資本についても科学的な目標設定や開示ができるよう、Science Based Targets Networkが主催するコーポレートエンゲージメントプログラムや「自然関連財務情報開示タスクフォース」(TNFD)の“The TNFD Forum”に参画し、取り組みを開始しています。

キリンググループは、2019年に“世界のCSV先進企業になる”と宣言しました。感染症などの健康課題、コミュニティの課題と、これらに大きな影響を与える気候変動や自然資本といった環境課題などさまざまな社会課題を解決し、リスクを成長機会に変えることで、新たな市場と価値を創造し、持続的な成長につなげていきます。世界の人々が豊かな自然に囲まれ、心も身体もすこやかに暮らせるよう、「食と健康の新たなよるこび」を生み出すことでコーポレートスローガンである「よるこびがつなく世界へ」の実現を目指してまいります。



キリンホールディングス株式会社
代表取締役社長
磯崎 功典

事業概要

グループ経営理念

キリングroupは、自然と人を見つめるものづくりで、「食と健康」の新たなよるごびを広げ、こころ豊かな社会の実現に貢献します

2027年の目指す姿

食から医にわたる領域で価値を創造し、世界のCSV先進企業となる

“One KIRIN” Values



熱意
Passion
自由な発想で、進んで新しい価値をお客様・社会に提案することへの我々の熱い意志。会社やブランドに誇りを持ち、目標をやりきる熱い気持ち



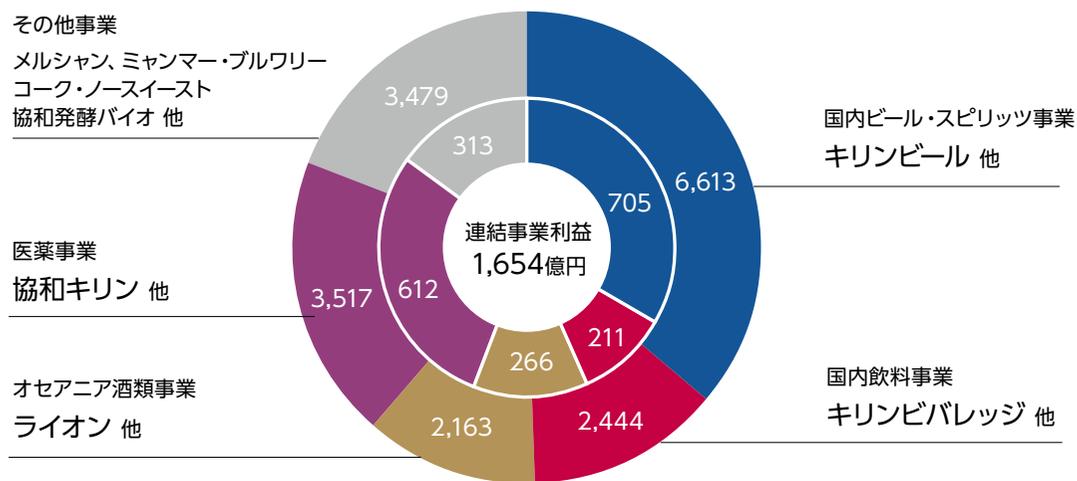
誠意
Integrity
ステークホルダーの皆さまのおかげでキリングroupは存在しているということへの感謝の気持ち、謙虚な気持ちで確かな価値を提供し、ステークホルダーに貢献するという誠実さ



多様性
Diversity
個々の価値観や視点の違いを認め合い、尊重する気持ち。社内外を問わない建設的な議論により、「違い」が世界を変える力、より良い方法を生み出す力に変わるという信念

※内側：事業利益、外側：売上収益
(2021年12月期実績)

連結売上収益 1兆8,216億円



セグメント	食領域	医領域	ヘルスサイエンス領域	会社
国内ビール・スピリッツ	●			キリンビール
国内飲料	●			キリンビバレッジ
オセアニア酒類	●			ライオン
医薬		●		協和キリン
その他	●		●	メルシャン ミャンマー・ブルワリー コーク・ノースイースト 協和発酵バイオ 上記以外

会社概要

商号 キリンホールディングス株式会社
Kirin Holdings Company, Limited

設立 1907年(明治40年)2月23日
※2007年7月1日持株会社化に伴い「麒麟麦酒株式会社」より商号変更

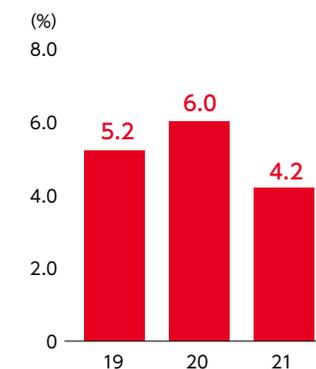
本社所在地 〒164-0001
東京都中野区中野4-10-2 中野セントラルパークサウス

資本金 102,045,793,357円

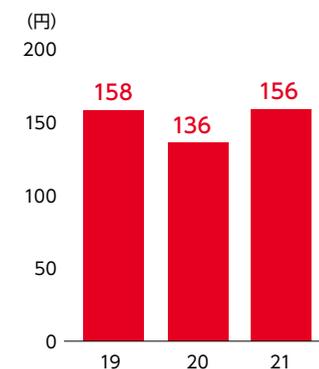
従業員数 29,515人
※キリンホールディングス連結従業員数、2021年12月31日現在

財務KPI

資本効率性 ROIC



収益性・成長性・平準化EPS



担当役員メッセージ

2020年に発表した「キリングroup環境ビジョン2050」の最も重要なメッセージである「ポジティブインパクトで、豊かな地球を」の背景にあるのは、「生への畏敬」というキリンの醸造哲学です。麦芽もホップも水も、ビールの原料は全てが自然の恵みであり、麦汁に含まれる糖をアルコールと炭酸に分解し、ビールの香味を決める酵母も微生物。おいしいビールを製造するには、“生”と向き合い続け、生命科学を究める必要がある、という考え方です。「生への畏敬」は、1952年にノーベル平和賞を受賞されたシュバイツァー博士の思想であり、「われは、生きんとする生命にとりかこまれた、生きんとする生命である」という、人々の多様性や自然環境を尊重する教えです。

その“生”が拠って立つ自然は、“場所”に依存しています。ワインは「テロワール」を重視します。ブドウの採れる土地の個性がワインの味を決める重要な要素になるためです。テロワールは、ワインだけではなく、紅茶やコーヒーでも使うことがあります。

「キリン 午後の紅茶」はスリランカの茶葉の個性が生かされていますし、ホップもまた生産地によって個性が異なります。農産物を特徴づける特定の場所の自然資本が棄損すれば、代替は効きません。

場所に依存する生物資源と水資源に大きな影響を与えるのが、気候変動問題です。GHGはどこで排出しても地球温暖化につながるグローバルな課題ですが、それによって棄損されるのはローカルに存在する農産物と水資源です。私たちは気候変動と自然資本が互いに強く関連していることを念頭に取り組んできており、TCFDのシナリオ分析によってこの関係性をより深く理解す

ることができました。

スリランカの紅茶農園では、生態系を守り肥沃な土壌が流出しないよう地を這う草を植えることを教えています。これは気候変動の影響で頻発する集中豪雨での土砂崩れを防ぐことにもつながります。水ストレスの高いオーストラリアでは高度用水処理設備を導入していますが、比較的水ストレスの低い日本ではエネルギーを消費する設備導入に代えてカスケード利用などの創意工夫で対応しています。紙容器がGHGを吸収してくれる貴重な森林を破壊しないようにFSC認証紙の採用を進め、プラスチック問題が温暖化や生態系に影響を与えることを止めるために、“プラスチックが循環し続ける社会”の実現に向けて取り組みを進めています。

このように「キリングroup環境ビジョン2050」で定めた4つの課題、「生物資源」「水資源」「容器包装」「気候変動」は、決して独立した課題ではなく、相互に関連しています。この関連した課題を統合的 (holistic) に解決しようとするのが、キリンのアプローチです。NGOや他企業とのコンソーシアムや地域の方々との協働、さらにはグローバルなイニシアチブへの参画も、統合的アプローチの一環です。

今後も気候変動や自然資本、サーキュラーエコノミーの課題を統合的に捉え、「生物資源」「水資源」では原料生産地や事業展開地域の資源保全に貢献し、「容器包装」では社内開発、「気候変動」では再生可能エネルギーの追加性を重視し、自社の領域を超えて社会にポジティブインパクトを創り出していきます。

キリンホールディングス株式会社
常務執行役員
(CSV戦略担当、グループ環境総括責任者)
溝内 良輔

